

スペイン ポデモス (わたしたちはできる)

増税と社会保障の削減、失業と格差——こんな社会を変えなければと、市民運動から生まれたのがポデモス(わたしたちはできる)。メンバーの大半は30代。2015年、初の国政選挙では0→69議席と第3党に。

イギリス

「富の公正な分配」

二大政党の一つ、労働党の党首は「マルクス主義者」コービン氏。核兵器廃絶、富の公正な分配、反差別、貧困層の教育の機会均等と無償化を訴える。同氏を支持する若者が労働党に大量に入党し、彼を支えている。



祝・成人の日

世界でも日本でも

社会を変えるチカラは 若者にアリ

1%のお金持ちのためでなく99%のために。
世界でも日本でも市民運動と政党が結びつき、
政治を変える大きなうねりが起こっている。

アメリカ 大統領選で サンダース旋風

貧困と格差の拡大に反対し、「権力を民衆の手に取り戻そう」と訴える「民主的社会主義者」サンダース氏。ミレニウム世代(2000年以降、経済不況の中で成人した若い世代)が敏感に反応し、旋風が巻き起こった。



サンダース氏の示す「大変革」に思いを託す若者たち(2016年6月6日、サンフランシスコ)

日本

野党と市民が共闘

2015年、若い世代が安保法制に反対し、「民主主義ってなんだ」「野党は共闘」と声をあげた。そして、2016年夏の参院選挙では、野党統一候補が全国で実現し、11選挙区で勝利。若者や子育て世代のママ・パパをはじめ市民が政党といっしょにたたかった。

次の国政選挙は、政権を選ぶ衆院選挙。野党4党(民進、共産、自由、社民)は力をあわせて選挙に取り組むことで合意し、市民といっしょに安倍政権を倒し、新しい日本をつくらうと結束を強めている。

野党と市民の共闘で政治を変えよう
と手をあわせる野党代表と「市民連合」のメンバー(2016年6月7日)



20歳になったあなたへ

古い時代を終わらせ、新しい時代へ

日本共産党



2017年 1月号外
発行●日本共産党中央委員会

151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7 TEL 03-3403-6111 FAX 03-5474-8358

日刊●月3,497円 日曜版●月823円

× 若者使い捨て

○ 8時間働けば ふつうに暮らせる社会

「1日20時間とか会社にいるともはや何のために生きているのか分からなくなって笑けてくるな」(2015年に過労自殺した電通の新入社員のツイッターより)。この国では過労死の危険が決して他人事ではない。

野党4党は、労働基準法を改正し、残業時間の上限を明記することを要求。一刻も早く実現し、「8時間働けばふつうに暮らせる社会」を。

× ローン化した奨学金

○ 必要な人に届く 給付型奨学金を

政府は、2018年度から給付型奨学金をスタートさせようとしているが、その規模は1学年2万人と、全学生のわずか2%。

他の先進国では3割程度が同制度を利用している。日本共産党は、月3万円を70万人に支給すること、その財源はあまりにも貧困な高等教育予算を拡充することで可能と提案している。

こんな日本を いっしょにつくろう

JCP
FOR THE
FUTURE

× スーパーリッチ優遇

○ 経済にデモクラシーを

超富裕層の金融資産は1997年から2013年のあいだに2倍(6.3億円から13.5億円)に、一方で労働者の平均賃金は、1997年をピークに55万6千円もダウン。

富裕層への優遇をやめ、適正な税負担を求めること、予算の使い方を私たちの生活を守ることを優先する——経済に民主主義を実現しよう。

18~19歳の73.3%が
「日本は所得格差が大きすぎる」

Q. 日本の所得格差は大きすぎる?



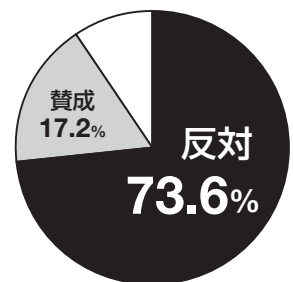
× 与党がなんでもごり押し

○ 私たちのための政治を

内戦が続く南スーダンでの自衛隊の任務拡大、年金カットの強行、「人の不幸を踏み台に」するカジノ解禁。安倍政権の暴走が止まらない。

日本は民主主義の国。一人ひとりが国の主人公であり、その声を生かすのが政治のもっとも大切な役割だ。私たちのための政治をいまこそ。

カジノをつくることについて



日本テレビ世論調査
(2016年12月16日~18日)

力あわせ、未来をひらこう

野党共闘を進める日本共産党にたいし、「共産党は譲るところを譲り、野党共闘に努力している」(精神科医・香山リカさん)、「いま共産党があって本当によかった」(同志社大教授・浜^{のりこ}矩子さん)とのコメントが。

力をあわせれば、政治は変えられる。私たちには、それができる。未来をひらく、楽しく、明るい政治をいっしょに。

スマホページは
こちらから



日本共産党